

平成28年 7月 7日  
(国際フロンティア理工学教育プログラム専門委員会承認)

## 東京工業大学レクチャーシアターの使用に関する取扱

### 1. 趣旨

東京工業大学レクチャーシアター（以下「TLT」という。）の使用等に関し必要な事項を定めるものとする。

### 2. TLT 使用目的と優先順位

- (1) 「科学・技術の最前線」の全授業
- (2) 「科学・技術の創造プロセス（n類）」の授業の内、当該類の希望する授業
- (3) TLT に具備する設備・装置等を必要とする通常授業で、TLT で実施する必要がある回の授業
- (4) (1) ～ (3) に該当しない2. 1の物理的制限で差し支えない通常授業全体の一部の授業（例えば最初の授業のみ実施）
- (5) (1) ～ (3) に該当しない2. 1の物理的制限で差し支えない通常授業全体の授業
- (6) 本学主催行事
- (7) 本学共催行事
- (8) 学外行事（本学教員が会員となっている学協会に限る。）

国際フロンティア理工学教育プログラム専門委員会（以下「専門委員会」という。）が定める場合はこの限りでない。

#### 2. 1 TLT の物理的制限

- ・定員 274 名（正規椅子席 245 名＋エクストラ席 29 名）。
- ・机（A3 又は B5 サイズ）は板を引き起こすタイプなので、教科書とノートを同時に開いて授業を受けるのは困難。
- ・スクリーン 1 面を使用した場合は、黒板の半面のみ使用可能。
- ・スクリーン 2 面を使用した場合は、黒板の使用は困難。
- ・定員数の WEB 同時利用は接続に障害が発生する。
- ・座席の配置位置の関係により、定員数が 3D 映像を観るのは困難。  
（3D 視聴可能参考人数は 150 名程度）

#### 2. 2 TLT に具備する設備・装置等

- ・走査型電子顕微鏡・元素分析装置、マイクロスコープ、蛍光顕微鏡、2D、3D 映

写装置、150型スクリーン2面、100型スクリーン1面、同時通訳簡易システム(2言語一方向)、TV会議システム、簡易化学実験机等をTLT内に具備。

- ・(参考) X線分析顕微鏡、表面形状測定装置(レーザ顕微鏡・プローブ顕微鏡複合分析装置)、ラマン分光分析装置、CO<sub>2</sub>レーザ精密加工システムをものづくり教育研究支援センター内に設置。
- ・機器使用は、当面国際フロンティア理工学教育プログラム(以下「国際フロンティア」という。)担当により管理する。ものづくり教育研究支援センター(以下「センター」という。)に置く機器は、センターの他機器同様に管理するが、2.(1)(2)講義準備用の使用予約を優先する。また、研究室等による使用も可とし、使用に際しては、国際フロンティア担当(別紙参照)の承諾を得るものとする。

3. TLT使用許可願及び使用許可書、使用料金(別紙参照)  
東京工業大学不動産貸付基準の定めによるものとする。

#### 4. TLTの管理

- ・通常時施設。シアター内及び鍵の管理は学務部教務課学籍管理担当
- ・学生のみでのサークルの利用は禁止する。
- ・利用状況は、学務部教務課学籍管理担当に照会するものとし、同担当で使用予約を受け付ける。
  - 2.(1)は時間割を確認して決定。
  - 2.(2)(3)は時間割確認または希望調査を行い、使用予定を決定。
  - 2.(4)～(8)はその後の予約受付を原則とする。
- ・準備室及びオペレーション室は、精密機器等保全のため原則入室禁止とする。  
但し、内部の機器利用に際し国際フロンティア担当が承諾の場合はこの限りでない。

5. この取扱は、平成28年4月1日から適用する。

平成27年4月2日付け承認の東工大レクチャーシアター利用の考え方は廃止する。

以 上

別紙

取扱 3. 関係

講義室等の貸付許可願 → 学務部教務課学籍管理担当（内線 3476、西 8 号館 E101）

不動産貸付使用料単価 → 41.88 円/1 m<sup>2</sup>/1 時間（平成 29 年 2 月 9 日改訂通知）

別途財務部で定めた光熱水料が加算されます。

TLT 面積：260 m<sup>2</sup>×40.65 円/m<sup>2</sup>/h = 10,888 円/h

取扱 2. 2 及び 4. 関係

国際フロンティア担当 → ものづくり教育研究支援センター内

国際フロンティア担当（内線 3190、南実験棟 2 104-1）

E-mail: kokusais@jim.titech.ac.jp